

# リスク・コミュニケーション



放射線の事について、行政の方や保護者の方々と話す機会が増えたけど、コミュニケーションって難しいわね…  
立場や環境が違うと、考え方も違うのかしら？

相手のことが理解できていないと「共感」できないし、相手から想いが伝わらないと思われてしまうから、コミュニケーションが難しいと感じるよね！  
『リスク・コミュニケーション』って聞いたことがあるかな？



## リスク・コミュニケーションとは？

1つの結論を導き出すものではなく、正解のない問題を考え合うことです。  
専門家の決定を受け入れさせることでもありません。  
リスクの対応には、個人レベルと社会レベルがあります。

この『ステップアップ編』でのリスク・コミュニケーションの定義は、リスクについての個人、機関、集団間での情報や意見のやりとりの相互作用的過程（お互いに影響を及ぼし合いながら建設的に継続すること）の事をいいます。(National Research Council, 1989)

### 個人レベル

**どう行動するかは個人の判断に委ねられています。**

メッセージの送り手は、個人が求めるリスク回避ができるように情報提供します。受け手はその情報が理解できたかをフィードバックしたり、欲しい情報を自ら取りに行きます。

### 社会レベル

**社会的な課題を社会として解決する必要があります。**

リスクへの対策を社会で行うために、各人それぞれが求められる役割を果たし、対話・共考・協働を実践して課題解決を図っていくことです。

## リスク・コミュニケーションで何をを目指すのか？



『個人レベル』では個人がそれぞれ判断し、『社会レベル』では合意を得て課題解決を図る必要があるね。  
リスクは単純に減らすことができず、分け合うしかないから、『リスクが公平に配分されたと思えること』や『必要な情報を知ることができた満足できる』ように、コミュニケーションを良くして、日頃から意見交換したり、情報を共有したりすることが大事だね。